

九谷焼技術研修所 中期経営目標 取組状況（平成27年度）

中期経営目標（実施期間 H27～H29）

- ① 本科の入学志願者数を定員の1.5倍に高めます。
- ② 研究科の定員充足率を70%に高めます。
- ③ 実習科の定員充足率を70%に高めます。
- ④ 研究科では高度な技術力と商品開発力を修得できる魅力あるカリキュラムにします。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値 (H25)	実績値 (H27)	目標値 (H29)
① 本科入学志願倍率	0.93倍	1.00倍	1.5倍
② 研究科定員充足率	40%	33%	70%
③ 実習科定員充足率	60%	57%	70%
④ 本科から研究科への進学率	43%	80%	70%

2 平成27年度における主な取組内容

(1) 求められる人材の育成について

- ・九谷焼産業に従事しようとする研修生に対し、陶芸に関する技術、技能を修得させるだけでなく、九谷焼の素材に対する理解を深めるため、工業試験場（九谷焼技術センター）の協力を得て、釉薬の科学的素養及び鉛の溶出基準についての講義・実習を取り入れました。
- ・県立美術館、九谷焼美術館、大樋美術館における所蔵作品の熟覧をカリキュラムに取り入れ、県外研修等で優れた名品を観る機会を設けました。

(2) 研修生の確保について

- ・研修所の知名度の向上と入学希望者の増加に繋げるため、茶碗まつりやオープンキャンパス、陶芸村まつりに併せた施設開放等を行いました。
 - 九谷茶碗まつり（5月） 研修所施設を一般開放
 - オープンキャンパス（8月） 個人進学相談、絵付やロクロ体験等
 - 陶芸村まつり（11月） 施設開放と研修生及び卒業生の作品展示・販売
- ・企画展や開放講座を開催し、広く九谷焼や研修所のPRに努めました。
 - ☞いしかわ動物園での九谷焼干支作品展示
 - 第1弾「九谷焼干支飾皿展」（H27年12月9日～27日）
 - 第2弾「干支置物展」（H28年1月2日～2月1日）
 - 能美市九谷焼資料館での企画展（デザイン支援事業10年のあゆみ展）
 - しいのき迎賓館・石川県大阪事務所での作品展
 - 開放講座（九谷焼上絵付講座）
- ・県内の美術コース・美術部のある高校や短大・大学などを対象に、上絵付け体験を通して九谷焼及び研修所のPRに結びつける「出張教室」を行いました。

また、地元の寺井高校で、2年生の段階から九谷焼の歴史などについて話す機会を初めて設けていただき、地元の若者の九谷焼への意識向上・PRに努めました。

- ・5月17日、全国植樹祭の際、天皇皇后両陛下に研修所へのご訪問を賜り、研修生に温かいお言葉をかけていただきました。また、その際の写真をパネル展示し、研修所見学の方々にご覧いただきました。
- ・海外（台湾明道中学の研修旅行）との交流機会や県政バス等の団体や個別の入学希望者の受け入れ等を通じ、九谷焼及び研修所のPRに努め、ひいては研修への入学志願者の増加に結びつくよう取り組みました。
- ・入学生の多くはホームページを見て応募していることから、公募展での受賞者の対談など、卒業生の活動状況をわかりやすく掲載し、アクセス数の把握にも努め、より入学希望者に魅力を感じてもらえるように努めました。また、新たに研修所の出来事を所長の目線から紹介する、「所長の独り言」の掲載を始め、研修所の広報に努めました。
- ・洋菓子店と初めてコラボして、女性の研修所卒業生4人によるチョコレートの絵付けを行い、新聞・ラジオ・テレビで広く紹介していただきました。

(3) 商品開発に向けた支援について

- ・デザイン支援事業により、商品デザイン技術の向上、開発商品の販売開拓を支援するとともに、産地の売り手（問屋、小売店）とのマッチングにより取引拡大を後押ししました。また、（公財）県デザインセンターが行う、マーケットイン商品開発事業への参加や、イベント企画展への参加、アンテナショップへの展示販売等で売れる商品づくりを支援しました。

(4) 就職支援について

- ・九谷焼業界で就職希望の研修生については、研修生自ら企業訪問させ、積極的に自己アピールをするように指導し、担任も就職先に出向いて業界との情報交換をはかり、研修生の就職支援に努め、100%に近い就職率となりました。

3 平成28年度における取組内容の見直し等

- ・ホームページについて、卒業生の活躍や活動情報をいままで以上に掲載するとともに、絵付の解説、講師の実習風景などを掲載するなど、内容の見直しや充実に努めます。
- ・県内の高校、短大、大学からの入学希望者を増やすため、近在の高校の就職指導担当教諭との関係を構築するなど働きかけを強めていきます。
- ・研修生や九谷焼従事者の幅広い知識向上に資するため、デザイン支援事業においては、技術力やデザイン力向上に向けた支援のこれまで以上の充実に努め、夏期講座では、起業家としての経営知識を取り入れた講座の開催をします。
- ・引き続き、オープンキャンパスや茶碗まつり・陶芸村まつり等を通じた施設開放のほか、企画展の開催等を積極的に開催し、定員充足率の向上に努めます。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

※各年度4月学生数には休学者、復学者含む。

【本科】

指 標	単位	H25	H26	H27	備考
定員充足率	%	93.3	80.0	86.7	
総定員（各学年15人）	人	30	30	30	
各年度4月学生数	人	28	24	26	
1年	人	13	11	15	
2年	人	15	13	11	
志願倍率（翌年度入学者入試）	倍	0.93	1.0	1.0	
志願者数	人	14	15	15	
合格者数	人	14	15	13	
就業率（進学者を除く）	%	91.1	85.7	100	
卒業者数	人	14	11	10	
（うち進学者数）	人	（3）	（4）	（8）	
関連産業就業者数	人	10	6	2	
（うち県内）	人	（9）	（3）	（2）	

【研究科】

指 標	単位	H25	H26	H27	備考
定員充足率	%	40.0	26.7	33.3	
総定員（各学年15人）	人	15	15	15	
各年度4月学生数	人	6	4	5	
志願倍率（翌年度入学者入試）	倍	0.27	0.33	0.53	
志願者数	人	4	5	8	
合格者数	人	4	5	8	
就業率（進学者を除く）	%	100.0	75.0	66.7	
卒業者数	人	6	4	5	
関連産業就業者数	人	4	3	2	
（うち県内）	人	（3）	（1）	（2）	

【実習科】

指標	単位	H25	H26	H27	備考
定員充足率	%	60.0	56.7	56.7	
総定員(各コース15名)	人	30	30	30	
各年度4月学生数	人	18	17	17	
志願倍率(翌年度入学者入試)	倍	0.57	0.57	1.00	
志願者数	人	17	17	30	
合格者数	人	16	17	28	
卒業者数	人	14	13	16	

【デザイン支援事業】

項目	単位	H25	H26	H27	備考
参加人数	人	13	13	17	
デザイン検討会	回	6	6	6	
商品開発数	アイテム	12	13	17	

2 収支の状況

(単位：千円)

		H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算
歳出	職員費	55,077	63,126	59,289	57,204
	運営費	10,806	11,148	10,975	11,999
	研修事業費	19,823	19,072	19,035	21,262
	開放講座開催費	701	721	757	757
	体験見学会開催事業費	700	700	0	0
	研修所整備事業費	200	200	200	200
	研修所整備費	0	0	0	2,000
	計	87,307	94,967	90,256	93,422
歳入	授業料	12,427	10,087	11,614	13,132
	入学検定手数料	361	397	480	483
	入学手数料	1,698	2,380	2,273	2,199
	開放講座受講料	105	125	159	160
	一般財源	72,716	81,978	75,730	77,448
		計	87,307	94,967	90,256

3 利用者 1 人あたりの一般財源投入額

	H25	H26	H27
一般財源投入額 ①	72,716 千円	81,978 千円	75,730 千円
職員費を除いた額 ①'	17,639 千円	18,852 千円	16,441 千円
利用者数 ②	52 人	45 人	48 人
利用者 1 人あたりの一般財源投入額 ①÷②	1,398 千円	1,822 千円	1,578 千円
職員費を除いた額 ①' ÷②	339 千円	419 千円	343 千円